

ショートステイ エルフ山の手 ご利用者 新型コロナウイルス感染における今後の対応について

エルフ山の手（住宅型有料老人ホーム、ショートステイ、デイサービス）におけるショートステイの1階にて、ご利用者1名から、9月30日17時過ぎ、新型コロナウイルス陽性が確認されました。

なお、当該ご利用者は、入院療養となりました。

ご利用者の感染に際し、長崎市保健所より指導を受け、健康観察の強化を図ることにいたしました。

- ・ショートステイ1階 ご利用者（24名）について、本日、抗原検査にて全員陰性を確認しております。
- ・ショートステイ職員について、本日より出勤前に抗原検査で陰性を確認した上で、業務に従事させております。

ショートステイにおいて、今後しばらく下記の対応を行います。

- ・ショートステイ1階フロアについては、抗原検査の実施と体調管理の強化を行います。
- ・ショートステイ2階フロアについては、看護職員などの職員を除き、しばらくの間、職員を固定化して、感対策の強化に努めます。発熱や風邪症状がある場合は、抗原検査を行います。

上記の状況より、ショートステイの定期利用者の今後の受け入れは、ご利用者およびご家族に状況を説明した上で、サービス調整を行ってまいります。

併設のデイサービス エルフ山の手、住宅型有料老人ホームにおいては、職員が業務を兼務していないことから、今までどおりの感染対策を実施しながら、サービス提供を継続しております。

今後の状況変化により、サービスの提供の一時中止を行う場合は、ホームページ上でお知らせいたします。

地域住民の皆様、当事業所のサービスご利用者、ご家族、関係機関の皆様にご心配とご不安を与えることとなりお詫び申し上げます。

今後も、関係医療機関及び長崎市保健所へご報告、ご相談しながら、ご利用者及び職員の健康状態の経過観察を行うとともに、感染拡大防止に向け、適切な対応に努めてまいります。

令和4年 10月 1日 エルフ山の手 施設長 村川啓一郎